

農林水産部水産局

第3回三番瀬漁場再生検討委員会の開催結果について

開催日時 平成17年6月1日(水)
午後3時から午後5時55分まで

場 所 市川市行徳漁業協同組合

三番瀬の漁場再生の目標について(諮問)

平成17年度三番瀬漁場再生調査事業について

三番瀬の漁場再生の目標

水産資源の持続的な利用を実現し、環境依存型・環境維持型産業である漁業を維持・発展させていくため、漁業者の経験的知見を生かしたなかで、干潟の再生や藻場復元等の漁業環境の改善や持続的な漁業の振興に取り組み、「漁場の生産力の回復」を目指します。

《当面の目標》

現在の地形となった後、現在の主要漁業であるノリ養殖業、アサリ漁業等が、ある程度安定した生産をあげていた1985年頃（昭和60年代）の漁業生産が見込める「三番瀬の漁場再生」を目指します。

区 分		現 状	目 標 (昭和60年代頃の生産)
ノ リ 養 殖	生産されるノリの内、 高品質な品（ノリ共販3 等級以上）の割合	2割程度	3～5割程度
	生産枚数	H12～15年の平均 44,325千枚	S60～H元年の平均値は 38,687千枚であり、生産 量は、現状の44,000千枚 の現状維持を目標とする。
ア サ リ 漁 業	生産量	H12～14年の平均 869トン H15年 3,676トン	5,000トン

資料：千葉農林水産統計年報

：千葉県漁連によるノリの品質等級検査の結果、3等級以上のもの

《長期的な目標》

埋め立て等の開発行為が行なわれる以前である1960年代（昭和35年頃）における重要な水産物であったハマグリなどの貝類や、クルマエビ、シバエビ、ワタリガニなどの甲殻類、コハダ、クロダイ、アナゴなどの魚類が豊富に生息する「三番瀬の漁場再生」を目指します。

資 料

1 三番瀬における漁業の役割

地場産業としての地域経済の発展と地域社会の形成
県民・市民への新鮮な水産物の安定的供給
環境保全・改善への寄与
食文化の伝承や海難救助などの多面的機能の発揮

三番瀬とその周辺海域は、多くの魚類や貝類等の産卵、生育の場として、東京湾全域の漁業にとって重要な役割を果たしています。

そして、三番瀬における漁業は、首都圏をはじめとする消費者に新鮮な水産物を供給するとともに、地場産業として地域の経済と社会に大きな役割を果たしています。

また、漁業はノリ、アサリ等を水揚げすることで海中から窒素・リンを回収したり、漁場を耕うんすることで環境保全や改善に貢献してきました。さらに、食文化の伝承や海難事故発生時の救助活動など、多面的機能も発揮しています。

2 三番瀬における漁業の将来像

安定した生産と安定した収入が得られ、若年層が将来に希望を持って引き継ぐことができる漁業

3 課 題

貝類漁業：

アサリ生産が長期的に低落傾向にあり、特に冬季の減耗が著しいこと

ノリ養殖業：

上質なノリの安定生産が困難となっていること

漁場環境：

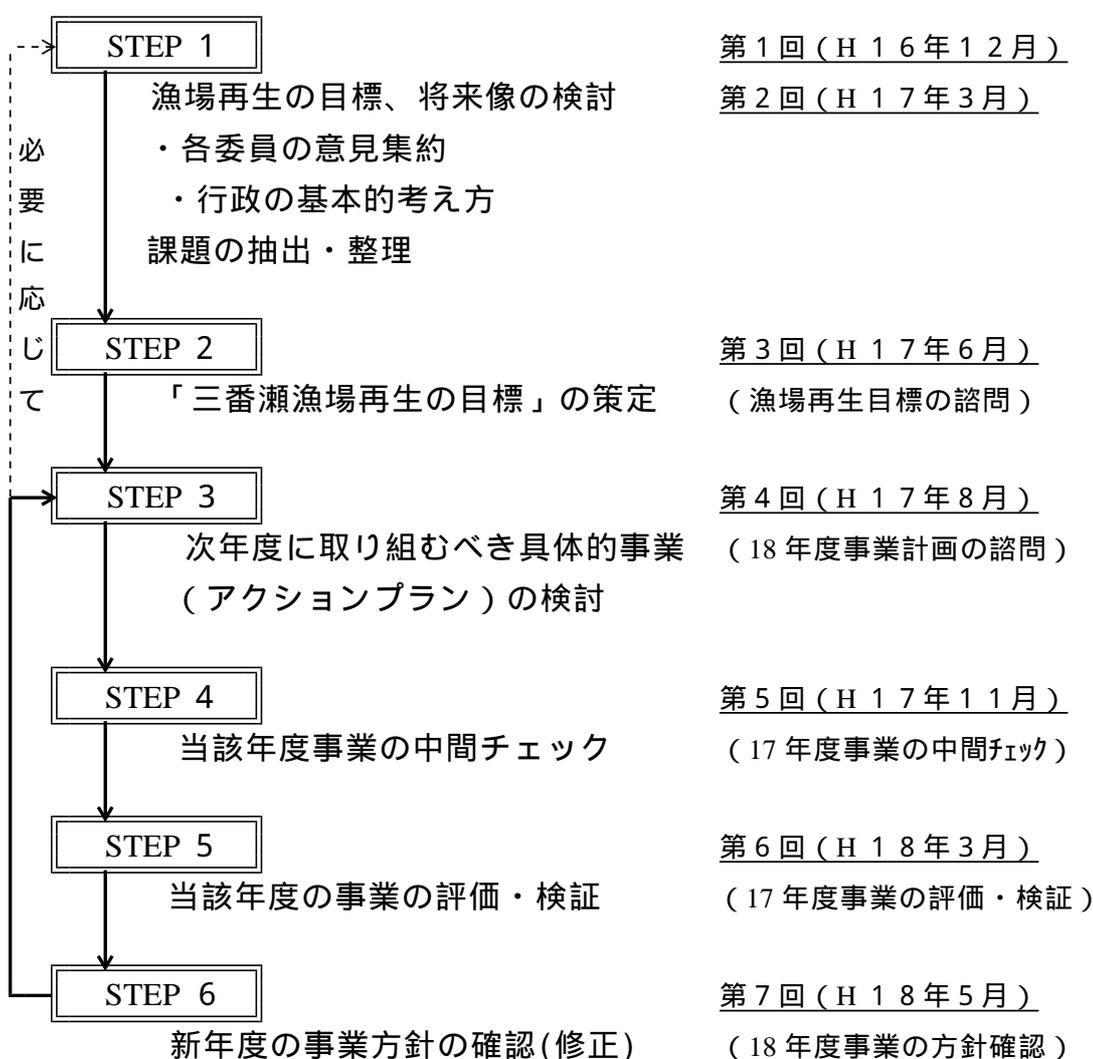
- ・ 浦安埋立地と市川市塩浜地区とに挟まれた海域において、流れの停滞が見られること
- ・ 台風等大雨時における江戸川放水路からの泥水やゴミの漁場への流入、漁場の淡水化により貝類のへい死やノリ養殖に影響がでること
- ・ アオサの堆積、腐敗に伴い漁場環境が悪化していること
- ・ 青潮の漁場への進入に伴いアサリ等の貝類や魚類に影響がでること
- ・ 魚類等の産卵、育成の場となるアマモ等の藻場が消失していること

4 施策の展開と事業の進め方

漁場環境の改善、安定したノリ養殖業やアサリ漁業に向けた研究の推進、必要な漁業基盤の整備等を進め、ノリ養殖業やアサリ等貝類漁業などを積極的に振興していきます。

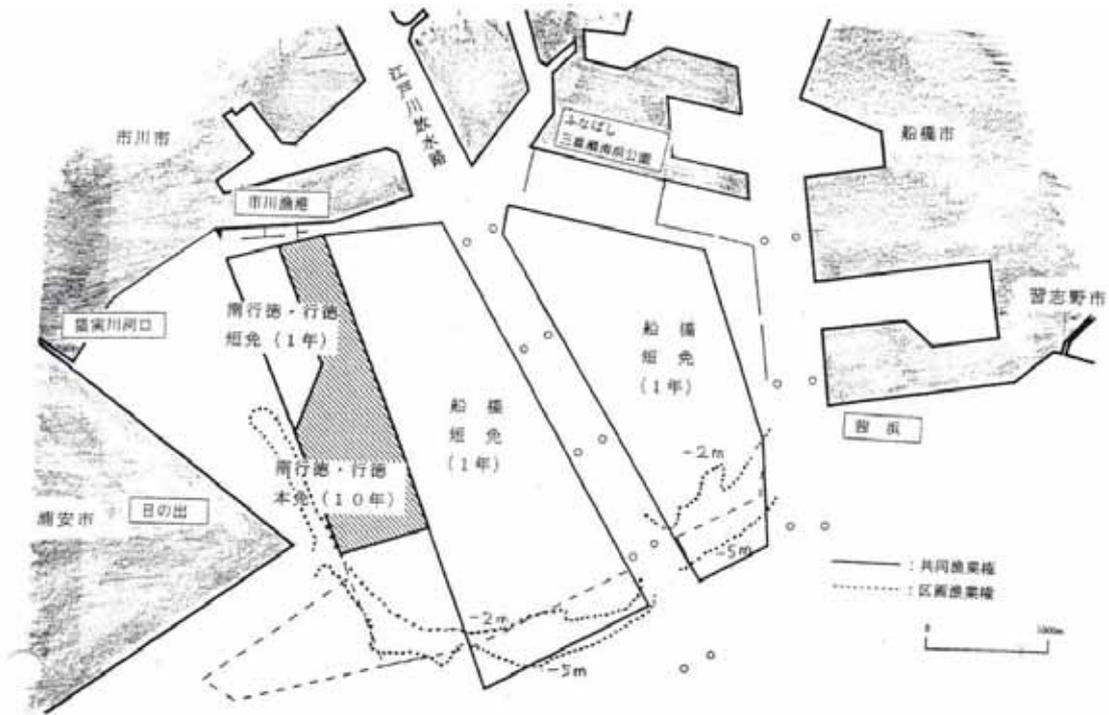
なお、事業の実施については、順応的管理によることとし、1 実施に係る計画の策定 (Plan)、2 実施 (Do)、3 評価 (Check)、4 対策の検討 (Action) という「PDCA」のマネジメントサイクルに則り、進めていきます。

《会議の進め方とスケジュール》



5 検討の対象範囲

三番瀬漁場再生検討委員会での検討対象範囲は、現在の漁業権漁場及び関係する周辺海域とします。



参考資料

ノリの生産状況の推移

ノリ 生産枚数の推移 (資料:千葉農林水産統計年報)

年(漁期)	三番瀬 (千枚)	千葉県 (千枚)
S41	280,000	580,000
S42	250,000	600,000
S43	120,000	350,000
S44	190,000	550,000
S45	230,000	480,000
S46	200,000	520,000
S47	180,000	600,000
S48	150,000	600,000
S49	70,000	600,000
S50	50,000	550,000
S51	25,000	400,000
S52	25,000	380,000
S53	90,000	700,000
S54	35,000	500,000
S55	45,000	550,000
S56	70,000	600,000
S57	40,000	400,000
S58	65,000	780,000
S59	45,000	550,000
S60	48,000	500,000
S61	40,000	520,000
S62	35,000	550,000
S63	40,000	650,000
S64	35,000	500,000
S65	35,000	550,000
S66	35,000	650,000
S67	30,000	500,000
S68	30,000	550,000
S69	35,000	500,000
S70	40,000	550,000
S71	35,000	500,000
S72	35,000	550,000
S73	35,000	500,000
S74	35,000	550,000
S75	35,000	500,000
S76	35,000	550,000
S77	35,000	500,000
S78	35,000	550,000
S79	35,000	500,000
S80	35,000	550,000
S81	35,000	500,000
S82	35,000	550,000
S83	35,000	500,000
S84	35,000	550,000
S85	35,000	500,000
S86	35,000	550,000
S87	35,000	500,000
S88	35,000	550,000
S89	35,000	500,000
S90	35,000	550,000
S91	35,000	500,000
S92	35,000	550,000
S93	35,000	500,000
S94	35,000	550,000
S95	35,000	500,000
S96	35,000	550,000
S97	35,000	500,000
S98	35,000	550,000
S99	35,000	500,000
S100	35,000	550,000
S101	35,000	500,000
S102	35,000	550,000
S103	35,000	500,000
S104	35,000	550,000
S105	35,000	500,000
S106	35,000	550,000
S107	35,000	500,000
S108	35,000	550,000
S109	35,000	500,000
S110	35,000	550,000
S111	35,000	500,000
S112	35,000	550,000
S113	35,000	500,000
S114	35,000	550,000
S115	35,000	500,000
S116	35,000	550,000

ノリ 平均単価の推移 (資料:のり共販結果)

年(漁期)	三番瀬 (円/帖)	千葉県 (円/帖)
S52	235	195
S53	205	185
S54	180	185
S55	150	155
S56	160	140
S57	205	175
S58	150	130
S59	165	140
S60	125	125
S61	145	125
S62	150	140
S63	130	115
H元	150	125
H2	165	130
H3	175	145
H4	145	130
H5	145	125
H6	105	115
H7	110	120
H8	120	130
H9	135	120
H10	120	115
H11	110	115
H12	125	135
H13	105	105
H14	110	120
H15	125	130
H16	115	130

ノリ 品質の推移 (資料:のり共販結果)

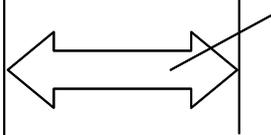
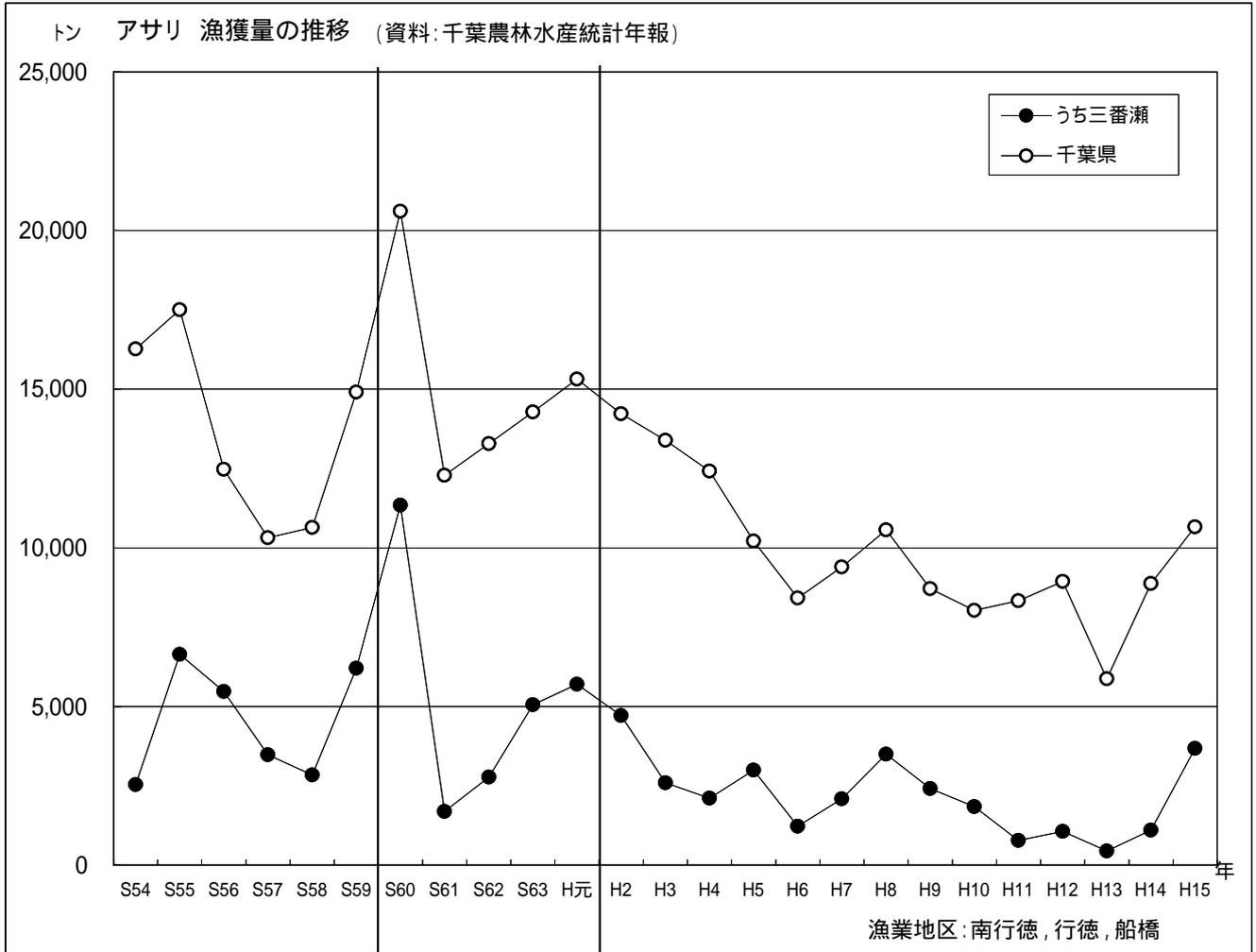
年(漁期)	三番瀬 (%)	千葉県 (%)
S52	70	40
S53	58	40
S54	35	22
S55	20	28
S56	50	55
S57	18	10
S58	18	15
S59	25	20
S60	25	30
S61	35	45
S62	30	30
S63	48	58
H元	62	55
H2	55	52
H3	55	60
H4	32	40
H5	38	35
H6	35	30
H7	35	25
H8	12	10
H9	20	10
H10	12	12
H11	28	22
H12	28	22
H13	18	12
H14	22	18
H15	28	25
H16	30	40

現在の地形になった後、ある程度安定して生産が行われ、品質も向上傾向にあるS60年代頃を目指す。

新技術 導入状況

- 昭和58年 ノリ採り用船の開発(手摘みから機械による刈り取りへ移行)
- 昭和60年 ノリ全自動乾燥機導入
- 平成4年 陸上採苗の試験・導入

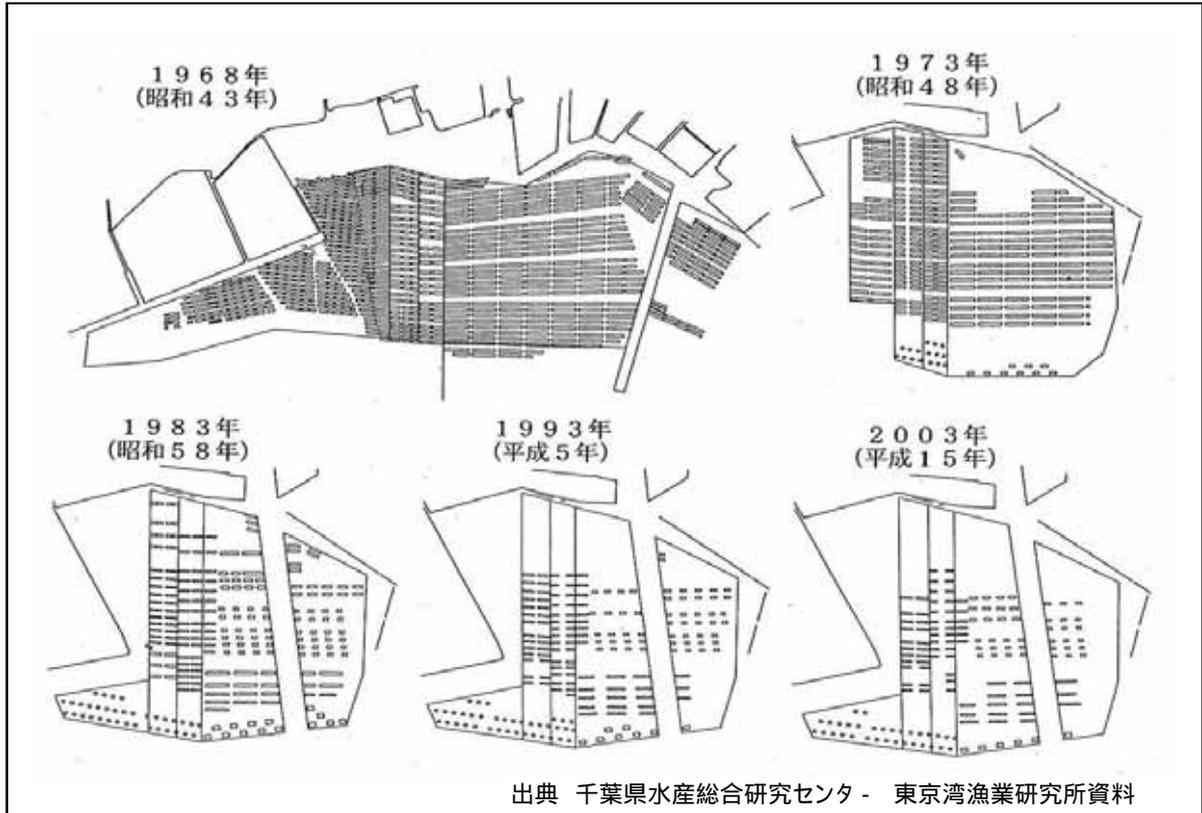
アサリの漁獲量の推移



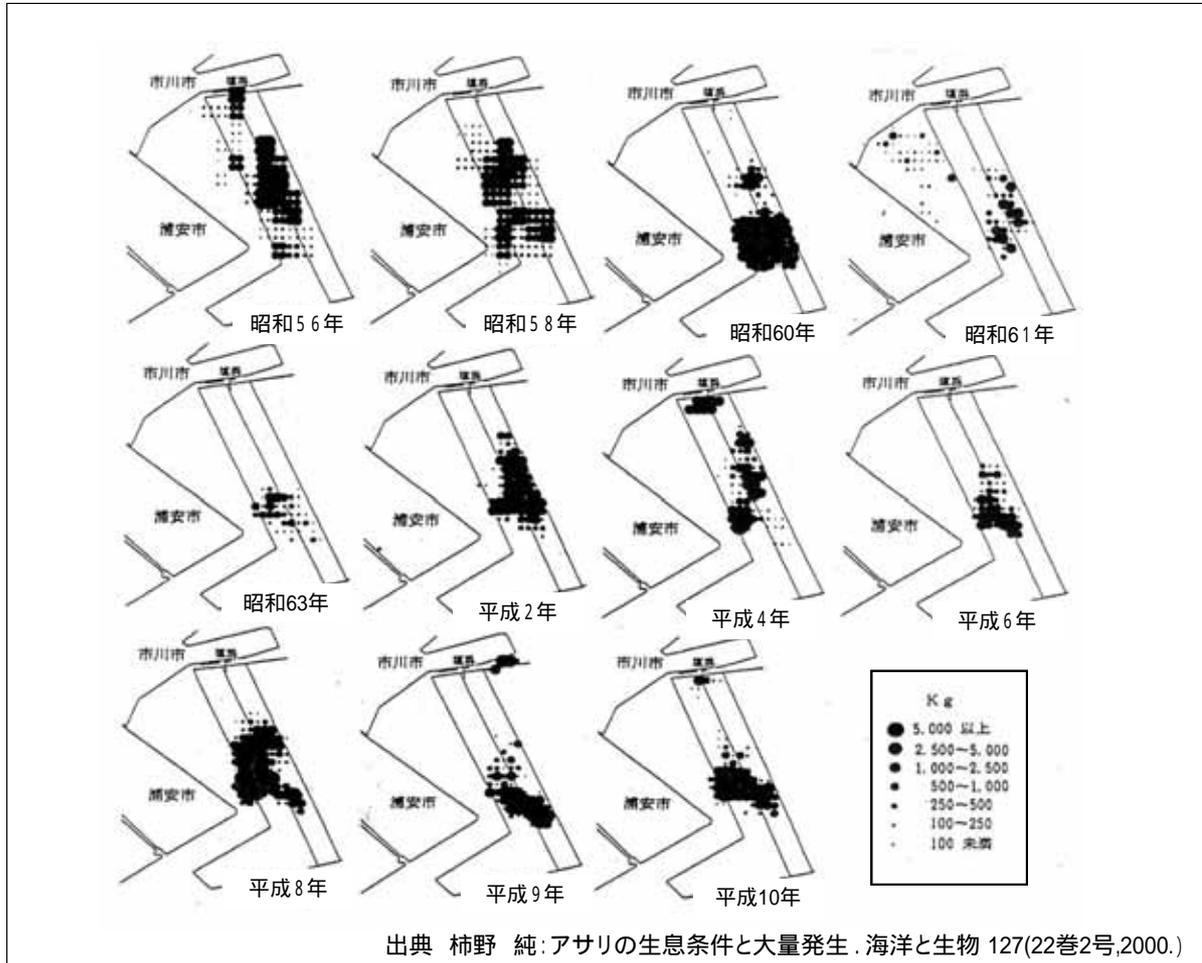
現在の地形になった後, S61年を除き, 比較的高い生産を上げていた, S60年代頃を目指す。

ノリ漁場とアサリ漁場の变化

1 ノリ漁場の变化



2 アサリ漁場の变化(市川市側)



昭和35年頃の三番瀬の漁獲概況

埋め立て等の開発行為が行われる以前である昭和35年頃には、次のとおりアサリのほか、ハマグリ、モガイ(サルボウ)などの貝類や、クルマエビ、シバエビ、ワタリガニなどの甲殻類、また、コハダ、クロダイ、アナゴなどの魚類が豊富に生産されていました。

		昭和35年から38年の平均漁獲量(トン)			平成15年の 船橋、行徳、 南行徳の漁獲量
		浦安・浦安第一	船橋・行徳・南行徳	計	
貝 類	アサリ	25,600	13,001	38,601	3,676
	ハマグリ	1,182	416	1,598	0
	モガイ (サルボウ)	8,126	3,504	11,630	0
	その他の貝類	8,490	558	9,047	192
エ ビ ・ カ ニ 類	クルマエビ	0.1	0	0.1	0
	その他のエビ (芝エビほか)	94	154	248	0
	ワタリガニ	14	23	38	0
	その他の カニ類	6	7	13	0

(出典 千葉農林水産統計年報)

平成17年度三番瀬漁場再生調査事業について

平成17年度三番瀬漁場再生調査事業のうち、アオサ調査については、第5回再生会議で報告した内容の一部を、下記のとおり変更することが了解された。

記

マリンサイレージによるアサリ稚貝への餌料化試験を中止し、用途別処理方法の検討を進める。

回収方法については、「自走式潜水吸引トラクター」の導入試験を実施する方向で検討を進める。